

はんざわ多美の 市政ウォッチング

先日、5才の息子連れて大垣駅までバスに乗ってみました。息子は行ったことのあるお店を指さしては喜んでいました。

想像以上にバス乗車を親子で楽しむことができたので、さっそく大垣市が取り組む「親子お出かけバスチケット」の申請をしました。この事業は「子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、バス利用による外出を促進するため」に小学校2年生以下の子どもが同伴

子ども・高齢者の公共交通料金無料化

すると同一世帯の親・祖父母のバス料金が無料になるというものです。

楽しい経験をしながら、お年寄りの運転免許変換後の交通手段の不便を思わざるを得ませんでした。上石津～市民病院は往復1600円。もし無料だったら、友達と会って食事などの楽しみも味わえるでしょう。経済効果も生まれてくるというもの。

自主運行バスの総事業費約1億4000万円のうち、補助負担分が1億2300万円でその大部分は大垣市

の持ち出しで維持されているそうです。

赤字部分の多くを市が負担しているのですから、むしろ高齢者のバス利用料に対して思い切った助成をして赤字負担分を減らし、健康で安心して暮らせる高齢者を増やす政策がよいのではと思います。

公共交通は、交通政策であって福祉政策でもあるといわれます。子どもにもお年寄りにも優しい福祉のまち大垣であってほしいものです。(はんざわ多美)